

大垣市は中学校も給食無償化の実施を!

国は、子育て家庭支援を目的に来年度（2026年度）から全国の公立小学校の給食費（月額平均4,700円+物価上昇分）が無償化される見通しになりました。また、高校の授業料の無償化も日程に上がってます。

しかし、国の方針では、中学校の給食費の無償化は、まだです。

文科省の調査によると、2023年9月時点で無償化を実施しているのは、1794の自治体のうち722自治体（40.2%）、この内4分の3を占める547自治体は小中学校全員を対象にしているが、145自治体は多子世帯などの条件を設けています。

青森県では、2024年10月から全市町村で、小中学校の無償化を実施しています。また、東京都では、2025年1月から全区市町村立の小中学校で無償化を実施しました。

しかし、**大垣市は12月議会では、中学校の無償化は考えていない**とのことでした。2025年度の大垣市の小中学校の給食費の保護者の負担は、総額約7億円でした。しかし、来年度

（2026年度）からは、国が小学校の給食無償化を実施します。すると大垣市の保護者の負担は、7億円→2億5千万円となります。また、近隣の西濃地域の揖斐川町、池田町、神戸町、垂井町では既に小学校、中学校で無償化を実施しています。**大垣市の中学校の給食費の無償化の費用は、2026年度（令和8年度の）推測で約2億6千万円です**（月6,000円×11ヶ月×約3,900人=約2億6千万円）。

今回の国の施策である小学校の無償化により約4億5千万円の保護者の負担はなくなります。子育て支援の観点から、教育の機会均等の観点からも中学校の保護者の負担をなくすべきです。

県下1・2位の財政力を誇る「子育て日本一」をめざす大垣市は来年度（令和8年度）からの中学校の給食費の無償化を実施すべきです。

中学生の給食が無償じゃないのにどこが子育て日本一なの！



義務教育だから中学校も給食費を無償化にしてください。



近隣の町・他都県の状況

揖斐川町	小・中	無償化になっている
池田町	小・中	無償化になっている
神戸町	小・中	無償化になっている
垂井町	小・中	無償化になっている
東京都	小・中	無償化になっている
青森県	小・中	無償化になっている

赤鉛筆

開戦の日に考える

2025年12月8日の中日新聞の社説を読みました。「84年前の1941（昭和16）年12月8日、日本は米英両国との戦闘に突入しました。太平洋戦争の開戦です。

日本は1937（昭和12）年から中国と戦争を始めており、戦争は西太平洋に広がります。開戦の翌1942（昭和17）年のミッドウェー海戦を境に戦況は一変。国土は焦土と化し日本国民に310万人という多大な犠牲を強いた末に戦争はようやく終結しました。現在、世界ではロシアのウクライナへの軍事進攻やイスラエルのガザ地区への軍事作戦の展開など、深刻な戦争や紛争が起きています。

先日、松坂桃李演じる『御上先生』というドラマを見ました。10本目のラストエピソードで松坂桃李演じる御上先生は担当の高3のクラスの生徒のやり取りの中で、次の様に発言しました。

「正しい戦争はあるか？」 「戦争のことを考える時、大前提となる事実から目を離してはいけない」

「戦争は国が政策として行っているという動かしがたい事実だ」

「戦争をするというのは政治が決めている」

「僕たちが選挙で選んだ代表たちが決めている。つまり、ぼくたちの意思ということだ」

「それは僕たちが選挙で投じる1票で戦争を止めたことができるかもしれない」

「もちろん、その1票が全く報われないこともある」

「love and peaceだけでは戦争がなくなるのは事実だ」

「複雑でむずかしい、考える力というのは考えても考えても答えが出ないことを投げ出さずに、考え続ける力のことだ」

私は、御上先生の言葉を今も考えています。

ご参加ください あなたも地方議員になりませんか？

市政・町政の勉強会

- ♦市政・町政の財政
- ♦子育て ♦福祉
- ♦まちづくり
- ♦都市計画 など

毎月テーマを変えて開催！

日時／1月31日 ㈯ 10:00～12:00
講義・質問・ディスカッション etc.

場所／オカサンホテル 1F 西事務所 大垣市旭町1-5

会費／500円（飲み物・資料代）

テーマ／
福祉の
まちづくり
について

